

2011年度

科目名	英語の規則 II							
担当教員	溝口 健司							
配当	教福2		コード	14032				
開期	通年	講時	月曜日4限	単位数 4				
授業テーマ	現代英語における文法・語法の重要事項を生徒に明快に説明できる能力を養う。							
目的と概要	現代英語の文法・語法の知識を確実に身につけるだけでなく、その文法・語法事項を生徒に明快に説明できる能力を養う。具体的な授業の形式は「教師役が生徒役に教科書を利用して重要な文法・語法事項を説明し、生徒役から提出される質問に適切に答える」という模擬授業形式を採用する。「適切に」とは、生徒をごまかすことなく、十分納得できるように、整合性のある誠実な説明をするということである。							
成績評価法	不定期試験(60%)および発表・質疑応答などにおける発言の質・量(40%)によって評価する。							
テキスト	How English Works: Student Book with Key Pack / M. Swan & C. Walter / Oxford University Press							
参考書	オックスフォード実例現代英語用法辞典(第3版)/M. Swan/研究社 実例英文法(第4版)/A.J. Thomson & A.V. Martinet /オックスフォード大学出版局 現代英文法講義/安藤貞雄/開拓社							
履修に当たつての注意・助言 /準備学習	模擬授業では希望者が模擬教員を担当するが、参考書などを活用して周到な準備をする必要がある。また、模擬生徒は積極的に質問を出し、模擬教員の「安易な」応答・説明を許さないこと。							
講義計画								
1. オリエンテーション 2. 決定詞1 3. 決定詞2 4. 代名詞 5. 名詞 6. 形容詞 7. 副詞 8. 比較と程度 9. be/do/ have 10. 法助動詞 11. 未来表現 12. 現在時制 13. 完了と過去時制 14. 受動態 15. 前期総括 16. 動詞の補足部 17. 準動詞1：不定詞 18. 準動詞2：動名詞 19. 準動詞3：分詞 20. 文構造1 21. 文構造2 22. 文構造3 23. 接続詞 24. 話法 25. 仮定表現 26. 関係詞1 27. 関係詞2 28. 前置詞 29. 数と縮約 30. 後期総括								